

## 令和元年度 第1回 長野市立博物館協議会 議事録

日 時 令和元年6月28日(金) 午後2時00分～午後3時30分

場 所 長野市立博物館 1階 教室

出席委員 立岩会長・宮下副会長・相澤委員・浅倉委員・伊藤委員・倉石委員・東福寺委員

### 1 開会

### 2 委嘱書交付

### 3 あいさつ

### 4 委員紹介・職員自己紹介

### 5 正副会長互選

会長に立岩委員、副会長に宮下委員が決定

### 6 正副会長あいさつ

### 7 協議事項(議長 立岩会長)

#### (1) 平成30年度事業報告及び令和元年度事業計画(原田係長・田辺補佐・畠山係長・前澤主査)

(立岩会長)「この件について、何か質問あるか。」

(浅倉委員)「平成30年度報告に寄託資料鷲寺経筒とあるが、これは何か。」

(原田係長)「今常設展で展示している。合併した豊野資料収蔵室にあったものを移したが、(所有者である)鷲寺(地区)さんと書類を交わしていなかったため、新たに寄託契約を結んだ。このあたり(千曲川流域)は平安時代の経塚が多くあり、(坂城町の)北日名経塚から(豊野の)鷲寺経塚まではつながりがあると考えられ、経筒は貴重ではないかと思う\*。」

(※経塚とは、仏教の経典を埋めた塚のこと。鷲寺経塚は、平安時代の終わり頃の北信濃の歴史上、重要とされる塚で、寄託された鷲寺経筒は、この鷲寺経塚と関連した資料と考えられるため、貴重であるということ。)

(宮下副会長)「県史で調査したが、(経筒を収めた壺は)珠洲製であり、良いもの。」

(原田係長)「(鷲寺の近辺を)掘った(発掘した)時に出てきた石に銘が入っており、これも貴重。」

(宮下副会長)「後に建てられた神社にその石が使われており、そういった面でも面白いも

の。」

(浅倉委員)「時代はいつのものか。」

(原田係長)「平安末期。展示をするとけっこう見に来る方がいる。」

(宮下副会長)「長野県の中でも逸品。」

(立岩会長)「他に質問はあるか。一気に説明を受けてしまっていないかもしれないが、またあったら質問してほしい。」

## (2) 諸課題について

### ア 川中島古戦場史跡公園の再編について(千野館長)

(立岩会長)「博物館ではリニューアルが課題だったが、いささか可能性が見えてきたということか。」

(千野館長)「そうである。」

(立岩会長)「がんばっていただきたい。形は今までとは別になったのか。」

(千野館長)「別というわけではない。今までは公園に手を入れる話が大きかったが、展示に手を入れる話になってきた。博物館の展示だけだと使える補助金がないので、公園と一体に考えるということでもある。今年から来年くらいで公園緑地課などと検討して進める。」

(相澤委員)「私もその会議に加わっている。(リニューアルは)何年先になるかわからないが、今できることをやりたいと思う。今、公園の駐車場に車を止める人が多いが、そこには何も無い。犬を放すなどという看板くらいしかない。観光客は、車を降りると、大きく目立つ佐久間象山の銅像に行くが、公園には何も無い。神社前の橋を渡れば博物館の看板があるという状況。博物館の看板が大きくないので、こういった予算的にできそうな課題からやれば良いと思う。会議をすると、議員が国のこんなお金を使って大きくやろう、といった大きい話になってしまうので、一に戻る形で。」

(千野館長)「再来年が御開帳。その次の御開帳を目指してリニューアルを考えるが、二年後の御開帳を目指して看板などを整備するという。段階を踏むことになると思う。」

(立岩会長)「小さな課題をクリアして、段階を踏んでいくということか。頑張ってください。」

(相澤委員)「今は小学校で昔の道具などについて学ぶが、学校の先生が若くて昔のことがわからないようだ。私たちは箱膳体験をやっていて、先日信州新町の小学校で体験をしたら、先生が感動してくれた。こういったもう一歩踏み込んだ活動はどうか。」

(倉石委員)「そういった課題はどこにもある。先生が昔の暮らしを知らないなので、教えられない。こちらでは教員研修をしているようだが、出席率はどうか。」

(陶山主査)「教員のための博物館の日というものを一昨年までやっていたが、出席率はかなり低かった。その代わりに、今は犀南ブロックの教員研修会など、団体研修を受け入れている。」

- (倉石委員)「子どもの教育と先生の知識は一体のものだと思う。難しいと思うが、こういうところで郷土の勉強をしてもらう機会を設けてほしい。ここ(長野市)は学校が多くて難しいかもしれないが、学校に博物館の学芸員が行くなどしてはどうか。安曇野ではやっている。理想かもしれないが。」
- (東福寺委員)「先ほど信州新町の学校の話があったが、先日、信州新町小学校の生徒と校長先生がいらして、私が一人で案内した。感激して帰ってくれた。パートナーとしての意見だが、(見学が多くなる)秋に向けて力を入れたい。」
- (島田主幹)「今お話しいただいた信州新町の校長先生は、今日欠席の松原委員なので、熱心なのかもしれない。」
- (宮下副会長)「博物館には優秀な学芸員がいるが、敷居が高いのだろうか。校長会に館長が出てはどうか。校長会から各学校に降ろしてもらうと良いので、校長会向けの資料を作ってはどうか。」
- (千野館長)「学校教育課と調整したい。」
- (相澤委員)「箱膳の会でもそうした。それが最短距離だと思う。子どもは、こちらが思っているよりも知っていて、興味をもってくれる。企画展では、子どもの視点や学校とのつながりを考慮してほしい。」
- (立岩会長)「そういう方向でもって行ってほしい。」

## イ 中条歴史民俗資料館について

質問なし

## ウ 信州新町化石博物館のディプロドクス実物大模型のニューデザインコンテストと愛称募集について(成田係長)

- (立岩会長)「恐竜の色はどうだったのか。」
- (成田係長)「誰も見たことがないのでわからない。(ディプロドクスは)羽毛もない恐竜なので、わからない。」

## 8 その他

- (立岩会長)「全体を通して、何かあるか。」
- (宮下副会長)「秋(の特別展)に良いものが来るので、期待している。今までこれほど仏像が出たことはあるか。」
- (原田係長)「ある。」
- (宮下副会長)「梱包業者は、慣れたところを選んでほしい。期待している。」

## 9 閉会